

仁淀川町

(金抜)

高知県 吾川郡仁淀川町 長坂

令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線（長坂1号橋）橋梁補修工事 実施設計書

作業区分 請負

完成期限 令和 8年 3月31日

繰越手続予定。繰越承認されたときの標準工事日数165日

金抜設計書

設計変更により請負金額を変更する必要がある場合は、「請負更正金額等の算出方法について（通知）」により、変更の協議を行うものとする。

令和 7年11月 1日 積算単価適用



## 特 記 仕 様 書

### 第1条 土木工事共通仕様書の適用

- 1 本工事の施工にあたっては、「高知県建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

### 第2条 環境物品等の調達推進（グリーン購入法）

- 1 本工事において「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「環境物品等の調達に関する基本方針及び調達方針」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法なものを使用することとする。

### 第3条 県内産資材の優先使用

- 1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

### 第4条 木製型枠の使用

- 1 木製型枠とは、杉、檜の間伐材等を板材に加工したものと桟木を組み合わせて作成した型枠（以下「木製型枠」という。）をいう。また、一般型枠とは、鋼材または、合板で作成した型枠（以下「一般型枠」という。）をいう。
- 2 設計図書等に「木製型枠」と明示している構造物は、木製型枠を標準的に使用すること。ただし、止め型枠・パチ部への一般型枠の使用は可能とする。
- 3 高知県内産材を用いて木製型枠を製造する事業所は、高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/housin-keikaku/>）林業振興・環境部木材産

業振興課のページに掲載しているので参考にすること。

なお、県外産材で製作した木製型枠を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載し監督職員の確認を受けること。

- 4 木製型枠は、型枠の現場搬入時から型枠組立、型枠脱型までの施工期間中に現場で木製型枠であることの確認を受けなければならない。確認の方法については、県産材で製作した型枠及び県産材材料には製造者が証明（スタンプ等）を行っているため、その箇所を工事監督職員に提示することで確認とする。
- 5 木製型枠を使用できない事由があり、一般型枠を使用する場合も、その使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載すること。ただし、その場合は一般型枠への設計変更を行う。
- 6 受注者は、発注者が行う木製型枠に関する調査に協力しなければならない。

### 第5条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査

- 1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず、木材等を使用した公共土木施設の実績を【高知県電子申請サービス】から申請すること。なお、【高知県電子申請サービス】による申請は以下のとおりとする。

#### 2 申請について

- (1) 受注者が高知県ホームページの高知県電子申請サービスのページから電子申請を行う。

([https://s-kantan.jp/pref-kochi-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=2052](https://s-kantan.jp/pref-kochi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2052))

手続き名：高知県土木部 公共土木工事木材利用実績調査

- (2) 申請前に電子申請システムから出力した「高知県土木部 公共土木工事木材利用実績調査」を工事監督職員へ提出し確認を受けること。
- (3) 申請内容に関する問合わせは工事監督職員または高知県土木部技術管理課、システム操作に関する問合わせは「お問合せコールセンター」（申請画面下に掲載）とする。

### 第6条 工事現場における県内産木材の木製品使用

- 1 受注者は、工事請負金額（消費税含む）が250万円以上の場合、「高知県産材利用推進方針」の行動計画に基づき、仮設備や保安施設等の工事中仮設に関する資材は以下の通り、木製品を使用しなければならない。

ただし、これらに関する経費は諸経費に含むものとする。

- (1) ア～オの資材のうち、いずれかに必ず木製品を使用すること。  
ア 掲示板（現場組織表、緊急連絡先など公衆に知らせるため設置するもの）

## 特 記 仕 様 書

- イ 工事看板（１ヶ所以上）
- ウ バリケード（１品以上）
- エ 木製クッションドラム（１品以上）
- オ 交通安全管理等の標示板

ただし、供用中の道路に係る工事の施工に用いる交通安全管理用標示板の様式仕様等（形態、寸法、色彩ほか）は、「道路工事の安全施設設置要領（案）」（平成８年３月）に準拠すること。

（２）上記１の資材を必要としない工事、委託業務については、その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を得ること。

その場合は、上記１以外の仮設備、保安施設等の工事に用仮設資材で木製品をできるだけ１品以上使用すること

例：現場事務所の棚、机、靴箱、ベンチ等

注１：木製品とは、県内産木材で作成した製品または県内産木材の板材を受注者が加工したものとする。

注２：別工事で購入（加工）した木製品の使用も可とする。

注３：使用する木製品については、施工計画打ち合わせ時に監督職員に報告すること。

注４：県内産木材使用（納入）証明書は必要としないが、木製品の写真を工事写真に納めること。

### 第 7 条 個人情報の保護

１ 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律を遵守すること。

### 第 8 条 ダンプトラック等による過積載の防止

- １ 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ２ さし枠装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ３ 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- ４ 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- ５ 建設発生土の処理及び資材の購入等にあって、下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ６ 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分に指導すること。

### 第 9 条 軽油単価の適正な運用

１ 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力

源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

### 第 10 条 不正軽油の使用禁止

１ 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第 144 条の 32 の規定による県知事の承認を受けないで製造又は譲渡された次のものをいう。

- ① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの
- ② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの
- ③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

２ 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

### 第 11 条 週休 2 日制工事の実施について

本工事は、週休 2 日制工事実施要領における「週休 2 日制工事」（月単位）の対象工事である。詳細については、下記ホームページに掲載する同要領を参照すること。

高知県土木部土木政策課ホームページ

(<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170000/170201/>)

なお、発注時において労務費等を補正済みであり、月単位の現場閉所率（週休 2 日交替制工事の場合は、休日確保）が 28.5% に満たない場合又は週休 2 日制工事が週休 2 日交替制工事に変更となった場合は、該当補正分を減額して契約変更を行うものとする。

### 第 12 条 工事実績データ作成、登録

１ 高知県建設工事共通仕様書共通編 1-1-1-6 に基づき、受注者は工事請負金額 500 万円以上（単価契約の場合は登録不要）の全ての工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に受注・変更（工期、請負代金額、技術者）・完成・訂正時の工事実績データを登録しなければならない。

### 第 13 条 公共事業労務費調査に対する協力

- １ 本工事が高知県の実施する公共事業労務費調査の対象工事になった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- ２ 調査票等を提出した事業所を高知県が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受

## 特 記 仕 様 書

注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

3 公共事業労務費調査の対象工事になった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就労規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

4 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

### 第14条 施工形態動向調査等に対する協力

1 本工事が高知県の実施する施工形態動向調査等の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。なお、調査費用は設計変更により計上することとする。

### 第15条 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出並びに建設発生土の搬出に係る事前確認及び受領書について

1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m<sup>3</sup>以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式1）を建設副産物情報交換システム（以下「コブリス・プラス」という。）により作成し、提出しなければならない。

2 受注者は、建設副産物の搬入量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m<sup>3</sup>以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式2）をコブリス・プラスにより作成し、提出しなければならない。

3 受注者は、500m<sup>3</sup>以上の建設発生土を搬出する建設工事において再生資源利用促進計画を作成しようとするときは、あらかじめ工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更についての土壤汚染対策法等の手続きの確認並びに搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法及び土砂条例の許可地等であるかなどの確認を行い、その確認結果を記載した書面を作成し再生資源利用促進計画の添付資料とする。

4 受注者は、再生資源利用（促進）計画書の内容を発注者に説明しなければならない。また、再生資源利用（促進）計画書（現場掲示用様式）を公衆が見やすい場所に掲げること。

5 受注者は、500m<sup>3</sup>以上の建設発生土を搬出する建設工事において建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに、当該搬出先の管理

者に対し、受領書の交付を求め、記載された搬出先の名称及び所在地が計画と一致することを確認する。なお、発注者から請求があった場合は速やかに受領書を提示すること。

6 受注者は、建設発生土を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、搬入元の管理者に対し受領書を交付する。

7 受注者は、再生資源利用（促進）計画書、実施書及び受領書を工事完了日から5年を経過する日まで保存すること。

（参考）コブリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ（<https://fkplus.jacic.or.jp/>）より、利用申請等を行うことができる。

### 第16条 産業廃棄物管理票等の提出

1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物（以下「産業廃棄物」という。）について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）を遵守し工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分、又は再生）を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。

ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の確認を受けなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の確認を受けなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は、監督職員と別途協議するものとする。

### 第17条 建設副産物対策（建設副産物処理の数量確認）

本工事において、現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影したデジタル写真（電子データ）等を設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

（作業内容）

（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）の単位とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、

## 特 記 仕 様 書

運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（各積載重量別車両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））

②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。

③受注者は、監督職員に①の電子データを提出し、②の記録を提示する。

（2）建設副産物の処理数量を体積（「m<sup>3</sup>」）の単位とする場合次の1）から3）のうち、いずれかの方法により確定する。

1）コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。

受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

2）前記「（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。

- ・コンクリート塊（鉄筋）2.5（t/m<sup>3</sup>） ・コンクリート塊（無筋）2.35（t/m<sup>3</sup>）
- ・アスファルト塊2.35（t/m<sup>3</sup>） ・掘削土（土砂）1.8（t/m<sup>3</sup>）
- ・掘削土（軟岩）2.2（t/m<sup>3</sup>） ・掘削土（硬岩）2.5（t/m<sup>3</sup>）

3）地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。 （全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

④受注者は、監督職員に②③の電子データを提出する。

（3）受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。 （全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

（4）建設副産物（建設発生木材（伐採木を含む））を木材市場等に搬出する場合

①受注者は、木材を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。

（木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

③受注者は、監督職員に②の電子データを提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第18条 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

1 監督職員の立会を要する工種については、施工計画書提出時に、立会時期・頻度等を定めるものとする。

第19条 施工管理

1 品質管理は「高知県工事技術管理要綱 品質管理基準」により実施し、その他の試験区分についても必要に応じて試験を行うものとする。

第20条 排出ガス対策型建設機械

1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成22年3月18日付国総施第291号）」、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（国土交通省告示第348号、平成18年3月17日）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づき、技術基準に適合するものとして

## 特 記 仕 様 書

届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。また、請負金額（税込）が5千万円以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、電子納品の際に施工状況写真に格納すること。

### 機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル（車輪式）
- ・ブルドーザ
- ・発動発電機（可搬式）
- ・空気圧縮機（可搬式）
- ・油圧ユニット（次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）
- ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ
- ・ホイールクレーン（ラフテレーンクレーンを含む）

※対象はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

### 第21条 交通誘導警備員の配置

- 1 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させてはならない。

ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでない。

- 2 交通誘導警備員Aが必要な交通誘導警備業務については、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を交通誘導警備業務を行う場所ごとに、1人以上配置することとする。

なお、配置する警備員の検定合格証の写しを事前に監督職員に提出し、警備員に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同資料を提出することとする。

- 3 交通誘導警備員Aが必要でない交通誘導警備業務については、警備業者の警備員であれば、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員である必要はない。

また、警備業者の警備員の配置が困難な場合は、別に定める手続きにより、警備業者の警備員によらず建設作業員等の他職種の者を交通誘導員として従事させることができることとする。なおその際、受注者は、交通誘導に関する安全教育を建設作業員等に行なったうえ、交通誘導員として専任させること。

- 4 交通誘導警備員の人手不足により、施工箇所周辺の警備業者からの配置が困難であり、やむなく現場までの通勤が長時間となる場合において、その費用の設計計上を希望する場合は、建設工事請負契約書第18条（契約変更）に基づき、「移動距離及び移動時間が確認できる資料」及び契約予定の警備業者より施工箇所に近い、全ての警備業者（営業所等含む）の「交通誘導警備員の配置に関する確認書」を付して確認請求を行うこと。

ただし、対象となる警備業者の「交通誘導警備員の配置に関する確認書」が提出できない場合は、設計変更の対象としないものとする。

- 5 交通誘導警備員の高齢化、就業者不足等により、交通誘導警備員の確保が困難な場合において、交通誘導警備員の代替えとして映像解析AI等による交通誘導システム（以下、交通誘導システム等）の使用を可能とする。

交通誘導システムの使用を希望する場合は、建設工事請負契約書第18条（契約変更）に基づき、複数社から徴収した「交通誘導警備員の配置に関する確認書」及び交通誘導システム等の見積書を付して協議を行うこと。

### 第22条 設計図書の変更

- 1 設計変更等については、建設工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知県建設工事共通仕様書共通編1-1-1-14から1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約における設計変更ガイドライン（令和2年4月

## 特 記 仕 様 書

（高知県土木部））」によることとする。

### 第 2 3 条 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

### 第 2 4 条 監理技術者等

- 1 本工事において、建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者（以下、「専任特例2号による監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（12）の要件を全て満たさなければならない。

- （1）兼務する工事が社会機能の維持に不可欠な工事（維持委託業務等を含む。）でないこと。（例：24 時間体制で応急処置作業や巡回パトロール等が必要な工事等）
  - （2） 低入札価格調査制度の調査対象工事でないこと。
  - （3） 同一の専任特例2号による監理技術者が配置できる工事の数は、同時に2件までであること。
  - （4） 専任特例2号による監理技術者が兼務できる工事は、専任特例2号による監理技術者として職務を適正に遂行できる範囲内にあること。具体的には、工事現場の相互の距離が 10 k m 程度以内の近接した場所であること。
  - （5） 専任特例2号による監理技術者が兼務できる工事は、高知県発注工事以外（公共工事に限る。）でも可能とする。
  - （6） 専任特例2号による監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行できること。
  - （7） 専任特例2号による監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
  - （8） 建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
  - （9） 監理技術者補佐は、主任技術者の要件を満たしている者のうち、1 級施工管理技士補を有する者又は 1 級施工管理技士等により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第 27 条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号による監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
  - （10） 監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的（3 ヶ月以上）な雇用関係にあること。
  - （11） 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
  - （12） 兼務する工事の発注者に本工事との兼務について承諾を得ること。
- 2 本工事の監理技術者が専任特例2号による監理技術者として兼務することとなる場合、「建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者及び監理技術者補佐の取扱

いについて」（令和5年3月 14 日付け4 高土政第 1343 号土木部長通知 最終改正：令和7年1月 23 日付け6 高土政第 1196 号）に規定する別記様式1、別記様式2及び1の（1）～（12）の事項について確認できる書類を「現場代理人・技術者届」に添付し、提出すること。

- 3 本工事において、専任特例2号による監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（COR I N S）への登録を行うこと。

### 第 2 5 条 工期

工期には、実働日数、雨天日、準備期間、後片付け期間及びその他作業不能日が含まれる。

また、工期に猛暑日を含むと想定される工事には、猛暑日日数9日が工期に含まれている。なお、実際の猛暑日日数が9日から大きく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を請求することができる。

（港湾工事及び港湾海岸工事を除く）

※猛暑日とは、8時から 17 時までのWBGT値が 31 以上の時間を足し合わせた日数（休日を除く）とする。WBGT値は、環境省熱中症予防情報サイトに掲載されている観測データによる。

### 第 2 6 条 塗料（一般事項）

- 1 色調については日本塗料工業会標準色見本帳（上塗色系：赤系、中塗色系：赤系）によるが、選定にあたっては監督職員と協議すること。
- 2 塗装回数・塗料使用量・目標塗装厚は、鋼道路橋塗装・防食便覧による。

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

## 【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響・・・・・・・・無

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限・・・・・・・・無

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項・・・・・・・・無

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

5. その他・・・・・・・・無

## 【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

## 【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定・・・・・・・・無

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道・・・・・・・・無

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

## 【工事用道路関係】

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

## 1. 一般道路を搬入路として使用する場合

(1) 経路、期限の制限・・・・・・・・無

(2) 使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

## 2. 仮設路を設置する場合

(1) 安全施設等の設置の必要・・・・・・・・無

(2) 工事終了後の措置・・・・・・・・撤去

(3) 維持及び補修の必要・・・・・・・・無

## 3. 一般道路の占用の必要・・・・・・・・無

# 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

### 【仮設備関係】

1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無
2. 仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無
3. 仮設備の設計条件・・・・・・・・無

### 【建設副産物関係】

1. 建設発生土の搬出・・・・・・・・無
2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・・・無
3. 産業廃棄物の処理条件（\*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）
  - （1）無筋Con
 

処理場所	吾川郡仁淀川町長者字コモリヤマ乙7173番1
処理方法（指定）	再資源化

# 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

処理場の受入条件

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の条件明示であり指定事項ではない。

### （２）PCB含有塗膜及び使用済み防護服等

PCB含有塗膜採取後は、プレハブを設置し、その中で適切に保管すること。プレハブ設置場所については監督職員と協議し、決定すること。

（プレハブ設置等に要する費用は設計変更の対象とする。）

### （３）ブラスト材

処理場所 高岡郡日高村本村字焼坂659番1

処理方法（指定） 最終処分

処理場の受入条件 処理場の受入条件による。（受入試験を実施すること。試験等に要する費用は設計変更対象とする。）

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の条件明示であり指定事項ではない。

### 【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限

（１）適正な剥離塗膜及び有害物質の飛散、拡散防止対策を実施すること。

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

（２）有害物含有塗膜除去時に使用する環境対策資機材及び安全衛生保護具を設計へ見込んでいるが指定事項ではない。作業員の安全確保を考慮のうえ必要な対策を実施すること。

予定している主要資機材及び安全保護具は下記のとおりとする。

- ・ 主要資機材：負圧集塵装置、真空掃除機、エアシャワー、簡易型セキュリティールーム
- ・ 安全保護具：呼吸用保護具、化学防護服（シューズカバー）、化学防護手袋

２．第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・・・無

## 【工事支障物件関係】

１．地上、地下等の支障物件・・・・・・・・無

２．地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

## 【排水工（濁水処理を含む）関係】

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定・・・・・・・・無

## 【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

## 【その他】

1. 工事用資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定

(1) 品名：鋼材

数量：0.32t

処理方法：スクラップ

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・無

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

4. 工事用電力等の指定・・・・・・・・無

5. 交通誘導警備員の配置

（1）工事期間中の安全確保のため、交通誘導警備員の配置人数は下記を予定している。

交通誘導警備員B 12 人

なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督職員と協議すること。

6. その他

（1）塗膜剥離剤塗布・塗膜除去について

旧塗膜にはP C B・鉛等の有害物質含有が予想されるため、適切な措置を講ずること。

塗膜剥離作業は、剥離剤を1回目（0.75kg/m<sup>2</sup>）・2回目（0.75kg/m<sup>2</sup>）の2回塗布を計画しているが、施工前に試験施工を実施し、適切な塗布量及び塗布回数を確認すること。なお、塗布量及び塗布回数の変更が必要となる場合には、事前に監督職員と協議すること。

また、旧塗膜について、当初設計では特別管理産業廃棄物に該当すると想定しているが、溶出試験結果等により設計変更の対象となる場合があるため、監督職員と協

## 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 道路メンテナンス事業

第000号

## 明示事項（説明書）

議すること。

## 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
道路維持・修繕					
橋梁保全工事					
現場塗装工					
橋梁塗装工					
塗膜除去工	式	1			明細表 第1号
塗装塗替工	式	1			明細表 第2号
橋梁補修工					
断面修復工					
左官工法	式	1			明細表 第3号

## 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	式	1			明細表 第4号
橋梁付属物工					
伸縮継手工					
鋼・コン製伸縮装置補修	式	1			明細表 第5号
排水施設工					
排水管取替工	式	1			明細表 第6号
仮設工					
足場工					
補修用足場	式	1			明細表 第7号
環境対策工					

## 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
環境対策資機材					明細表 第8号
	式	1			
交通管理工					
交通誘導警備員					明細表 第9号
	式	1			
直接工事費計					
共通仮設費積上分					
安全費					
	式	1			
鉛等呼吸用保護具等費用					明細表 第10号
	式	1			
技術管理費					
	式	1			
土質等試験費					明細表 第11号
	式	1			
共通仮設費率分					
	式	1			

## 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費	式	1			
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等	式	1			
工事価格					
消費税等相当額					
請負工事費					

明細表 第 1号  
塗膜除去工

## 明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 100m2未満					単価表 第 1 号
	m <sup>2</sup>	70			
塗膜剥離剤 STRIPPER同等品, 中性型水系剥離剤ECO					
	kg	52			
剥離剤及び塗膜かす回収・積込					単価表 第 2 号
	m <sup>2</sup>	70			
ﾄｰﾗﾑ缶 特別管理産業廃棄物運搬用, 200ℓ/缶, UN規格またはJIS規格					
	缶	1			
1 式 当り					

明細表 第 2号  
塗装塗替工

## 明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
塗替塗装 素地調整,1種ケレン,研削材及びケレンかす回収・積込:有,週休2日補正:現場閉所(月単位)	m <sup>2</sup>	35			単価表 第 3 号
運搬(片道) 小型車(2tクラス),40kmまで	台	1			単価表 第 4 号
処分費 汚泥(無機性汚泥(建設汚泥を除く))	t	1.4			処分費
塗替塗装 下塗り,有機ソノクラッチペイント(1層)スプレー,週休2日補正:現場閉所(月単位)	m <sup>2</sup>	35			単価表 第 5 号
塗替塗装 下塗り,弱溶剤形変性エポキシ樹脂(2層)スプレー,週休2日補正:現場閉所(月単位)	m <sup>2</sup>	35			単価表 第 6 号
塗替塗装 中塗り,弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用(スプレー)赤系,週休2日補正:現場閉所(月単位)	m <sup>2</sup>	35			単価表 第 7 号
塗替塗装 上塗り,弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(スプレー)赤系,週休2日補正:現場閉所(月単位)	m <sup>2</sup>	35			単価表 第 8 号
角部面取り R=2mm以上	m	72			単価表 第 9 号
1 式 当り					







明細表 第 6号  
排水管取替工

## 明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水管撤去工 鋼管	m	3			単価表 第 16 号
現場発生品及び支給品積込・荷卸 クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	0.02			施工P 第 1 号
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t積、吊能力2.9t , DID区間無し , 43.0km以下	t	0.02			施工P 第 2 号
スクラップ <sup>°</sup> ヘビ <sup>°</sup> -H2	t	0.02			対象外
排水管設置 TS-PL_PIPE-L, L=840, 取付金具設置含む	本	4			単価表 第 17 号
天板 <sup>°</sup> レト一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L φ158(SUS304 t=1.2mm), L=840, 長孔あり 外周曲加工含む, 内側EPDM貼付(t=3.0), コンクリートアンカー含む	本	4			
排水管取付金具 溶融亜鉛メッキ, 現場孔明含む	組	4			
1 式 当り					

明細表 第 7号  
補修用足場

## 明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
吊足場 タイプ A3, 供用月数=0.8月 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	30			単価表 第 18 号
床面シート張防護 供用月数=0.8月 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	30			単価表 第 19 号
朝顔 供用月数=0.8月 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	30			単価表 第 20 号
板張防護工 供用月数=0.8月 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	30			単価表 第 21 号
シート張防護工 供用月数=0.8月 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	30			単価表 第 22 号
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工 中段足場養生無し 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	70			単価表 第 23 号
プラスチック用養生シート工 中段足場養生無し 現場環境条件による補正K1=1.1, 極小面積の場合の補正K2=1.3	m <sup>2</sup>	30			単価表 第 24 号
1 式 当り					





明細表 第 10号  
鉛等呼吸用保護具等費用

## 明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉛等呼吸用保護具等 日当り編成人数=4人程度, 予定作業日数:8日					単価表 第 27 号
	式	1			
1 式 当り					
鉛等呼吸用保護具等					

明細表 第 11号  
土質等試験費

## 明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般性状試験 含水率	検体	1			
含有量試験 総水銀	検体	1			
溶出試験 溶出液作成料	検体	2			
溶出試験 総水銀	検体	1			
溶出試験 カドミウム	検体	1			
溶出試験 鉛	検体	1			
溶出試験 六価クロム	検体	1			
溶出試験 ヒ素	検体	1			
溶出試験 PCB	検体	1			
溶出試験 ベンゼン	検体	1			





単価表 第 2号

剥離剤及び塗膜かす回収・積込

単価表

( 50 )  
1 m<sup>2</sup> 当り

金額：

内容：

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう塗装工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1			[1]
諸雑費 20 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	50	m <sup>2</sup> 当り		)
	(	1	m <sup>2</sup> 当り		)

単価表 第 3号

塗替塗装

単価表

( 1 )

金額：

内容：素地調整，1種ケレン，研削材及びケレンかす回収・積込：有，週休2日補正：現場閉所（月単位）

1 m<sup>2</sup> 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工(塗替塗装) 素地調整 1種ケレン 時間的制約：無	m <sup>2</sup>	1			週休2日補正：現場閉所（月単位）
橋梁塗装工(塗替塗装) 素地調整 研削材及びケレンかす 時間的制約：無	m <sup>2</sup>	1			週休2日補正：現場閉所（月単位）
諸雑費	式	1			
	(	1	m <sup>2</sup> 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 素地調整 素地調整区分 : 1種ケレン					
研削材及びケレンかす回収・積込の有無 : 研削材及びケレンかす回収・積込：有 構造物区分 : 上記以外 時間的制約の有無 : 時間的制約：無					
作業時間帯 : 標準 週休2日補正 : 週休2日補正：現場閉所（月単位）					

単価表 第 4号

運搬(片道)

単価表

( 1 )

金額：

内容：小型車(2tクラス) , 40kmまで

1 台 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費小型車(2tクラス) 40kmまで	台	1			対象外
諸雑費	式	1			
	(	1	台 当り		)
*** 施工条件 *** 運搬車規格 : 小型車(2tクラス) 運搬距離 : 40kmまで					
有料道路利用料の規格 : その他の諸料金の規格 :					

単価表 第 5号

塗替塗装

単価表

( 1 )

金額：

内容：下塗り，有機ゾンクリッチペイント(1層)スプレー，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m<sup>2</sup> 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工(塗替塗装) 下塗り 有機ゾンクリッチ 600*1層 時間的制約:無	m <sup>2</sup>	1			週休2日補正：現場閉所(月単位)
諸雑費	式	1			
	(	1	m <sup>2</sup> 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 下塗り 塗料区分(下塗り) : 有機ゾンクリッチペイント(1層)スプレー					
構造物区分 : 上記以外 時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準					
週休2日補正 : 週休2日補正：現場閉所(月単位)					

単価表 第 6号		塗替塗装		単価表		( 1 )	
金額：		内容：		下塗り ，弱溶剤形変性エポキシ樹脂 (2層)スプレー ，週休2日補正:現場閉所 (月単位)		1 m <sup>2</sup> 当り	
名称・規格・条件		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工 (塗替塗装) 下塗り 変性エポキシ 240*2層 時間的制約:無		m <sup>2</sup>	1			週休2日補正:現場閉所 (月単位)	
諸雑費		式	1				
		(	1	m <sup>2</sup> 当り		)	
*** 施工条件 ***							
作業区分		: 下塗り					
塗料区分 (下塗り)		: 弱溶剤形変性エポキシ樹脂 (2層)スプレー					
構造物区分		: 上記以外					
時間的制約の有無		: 時間的制約:無					
作業時間帯		: 標準					
週休2日補正		: 週休2日補正:現場閉所 (月単位)					

単価表 第 7号

塗替塗装

単価表

( 1 )

金額：

内容：中塗り，弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用(ｽﾌﾟﾚｰ)赤系，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m<sup>2</sup> 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工(塗替塗装) 中塗り ふっ素樹脂 赤系 170*1層 時間的制約:無	m <sup>2</sup>	1			週休2日補正：現場閉所(月単位)
諸雑費	式	1			
	(	1	m <sup>2</sup> 当り		)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 中塗り 塗料区分(中塗り) : 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用(ｽﾌﾟﾚｰ)赤系					
構造物区分 : 上記以外 時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準					
週休2日補正 : 週休2日補正：現場閉所(月単位)					

単価表 第 8号		塗替塗装		単価表		( 1 )	
金額：		内容：上塗り ，弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(スプレー)赤系 ，週休2日補正：現場閉所(月単位)		1		㎡ 当り	
名称・規格・条件		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工(塗替塗装) 上塗り ふっ素樹脂 赤系 140*1層 時間的制約:無		㎡	1			週休2日補正:現場閉所(月単位)	
諸雑費		式	1				
		(	1	㎡ 当り		)	
*** 施工条件 ***							
作業区分		: 上塗り					
塗料区分(上塗り)		: 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(スプレー)赤系					
構造物区分		: 上記以外					
時間的制約の有無		: 時間的制約:無					
作業時間帯		: 標準					
週休2日補正		: 週休2日補正:現場閉所(月単位)					

単価表 第 9号

角部面取り

単価表

( 100 )

金額：

内容：R=2mm以上

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1			[1]
橋りょう特殊工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	3			[1]
諸雑費 30 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 10号

断面修復工(左官工法)

単価表

( 1 )

金額：

内容：鉄筋~~ケ~~ン・鉄筋防錆処理を含む , 0. 1m3未満 , V=0. 004 m3/構造物

1 構造物 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2. 8			[1] D1
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	5. 3			[1] D1
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2. 8			[1] D1
断面修復材 ポ リマーセメントモルタル, 左官工法用(コテ塗り)	m3	0. 005			
諸雑費 8 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	構造物 当り		)

単価表 第 11号

コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)

単価表

( 10 )

金額：

内容：DID区間無し , 19.0km以下

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1.3			1×10/D
ダンプトラック運転(断面修復工)	日	1.74			
諸雑費	式	1			
	(	10	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** DID区間の有無 : DID区間無し 運搬距離(km) (DID区間無) : 19.0km以下					
タイヤ損耗費 : 良好					

単価表 第 12号

伸縮装置撤去

## 単価表

( 1 )

金額：

内容：

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	1			[1]
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	5			[1]
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	3			[1]
トラック(クレーン装置付)(市場価格) 4t積・2.9t吊	日	1			
ダンプトラック(市場価格) オート・ディーゼル 4t積級	日	1			
諸雑費 45 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	1	式 当り		)



単価表 第 14号

伸縮装置設置費

単価表

( 6 )

金額：

内容：カットオフジョイント同等品

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	2			[1]
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	10			[1]
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	6			[1]
トラック(クレーン装置付)(市場価格) 4t積・2.9t吊	日	1			
ダンプトラック(市場価格) オンロード・ディーゼル 4t積級	日	1			
諸雑費 45 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	6	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 15号

伸縮装置材料費

単価表

( 6 )

金額：

内容：カットオフジョイント同等品

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ジョイント #303C同等品	kg	41.04			
カーボンガラスロービングクロス TERC-140同等品	m	24.00			
ジョイントシールゴム A1同等品	m	6.00			
ジョイント SR同等品	kg	0.90			
接着用硅砂 4号・7号	kg	156.49			
コーナー金具 S型	m	12.00			
シール材 シリコン系、プライマー含む	リットル	0.12			
諸雑費	式	1			
	(	6	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 16号 排水管撤去工 単価表 ( 10 ) 金額： 内容：鋼管 1 m 当り					
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	0.3			[1]
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	0.8			[1]
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	0.5			[1]
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ｼﾌﾞ型 16t吊 ホﾞﾚｰﾀ付き	日	0.5			
諸雑費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 17号

排水管設置

単価表

( 2 )

金額：

内容：TS-PL\_PIPE-L, L=840, 取付金具設置含む

1 本 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	1			[1]
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	2			[1]
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	1			[1]
諸雑費 25 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	2	本 当り		)
	(	1	本 当り		)















単価表 第 25号

環境対策資機材費

単価表

( 1 )

金額：

内容： 予定供用日数：14日（予定作業日数：8日）

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
環境対策資機材設置・撤去	式	1			
負圧集塵機賃料(基本料・整備費含む) 7m3/min程度	台・月	1			
負圧集塵装置用1次フィルター	枚	8			
負圧集塵装置用2次フィルター	枚	2			
負圧集塵装置用HEPAフィルター	枚	1			
負圧集塵装置用チャコールフィルター	枚	1			
負圧集塵装置用配管材 φ 250 L=10m×1本	式	1			
真空掃除機賃料(基本料・整備費含む) 26L	台・月	1			
真空掃除機(集塵パック)	枚	2			
真空掃除機用HEPAフィルター	枚	1			

単価表 第 25号

環境対策資機材費

単価表

( 1 )

金額：

内容： 予定供用日数:14日(予定作業日数:8日)

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
真空掃除機用チャコルフィルター	枚	1			
簡易型セキュリティーム	式	1			
エアシャワー賃料(基本料・整備費含む) 5m3/min程度	台・月	1			
エアシャワー用1次フィルター	枚	2			
エアシャワー用HEPAフィルター	枚	1			
エアシャワー用チャコルフィルター	枚	1			
諸雑費	式	1			
	(	1	式 当り		)



単価表 第 27号

鉛等呼吸用保護具等

単価表

( 1 )

金額：

内容：日当り編成人数=4人程度, 予定作業日数:8日

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電動ファン付呼吸用保護具 全面形面体, 国家検定合格品, Sy185同等品	個	4			
呼吸用保護具用フィルター 国家検定合格品, V3/0V同等品	個	128			
化学防護服(シューズカバー付) JIS T 8115同等品	個	128			
化学防護手袋 JIS T 8115同等品 (12組入り/袋)	袋	11			
諸雑費	式	1			
	(	1	式 当り		)

## 諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 7年11月 1日
単価適用地区	中央西土木事務所 2 地区(中部地区)
工種区分	鋼橋架設工事
I C T補正（3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理）	補正しない
技術者間接費の計上有無	計上しない
機器単体費の計上有無	計上しない
施工地域・工事場所区分の補正（共通仮設費）	一般交通影響有り（2）－2
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正（現場管理費）	一般交通影響有り（2）－2
堤頂20mの補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	35%を超える（1.00）
契約保証に係る補正	金銭的保証
工事価格まるめ区分	万円まるめ
諸経費等率指定	率指定しない
現場環境改善費の計上有無	計上しない



# 公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
断面修復材 ポリマーセメントモルタル, 左官工法用(コテ塗り)	m3		単価表 第10号 建設物価P193
塗膜剥離剤 STRIPPER同等品, 中性型水系剥離剤ECO	kg		明細表 第1号 建設物価P196
溶出試験 溶出液作成料	検体		明細表 第11号 建設物価P859
溶出試験 鉛	検体		明細表 第11号 建設物価P859
溶出試験 PCB	検体		明細表 第11号 建設物価P859
スクラップ ヘビ- H2	t		明細表 第6号 対象外 建設物価P794
環境対策資機材設置・撤去	式	150,000	単価表 第25号 見積
負圧集塵機賃料(基本料・整備費含む) 7m3/min程度	台・月	130,000	単価表 第25号 見積
負圧集塵装置用1次フィルター	枚	3,000	単価表 第25号 見積
負圧集塵装置用2次フィルター	枚	6,000	単価表 第25号 見積

# 公 表 単 価 一 覧 表

名称・規格1・規格2	単 位	単 価	摘 要
負圧集塵装置用HEPAフィルター	枚	70,000	単価表 第25号 見積
負圧集塵装置用配管材 φ250 L=10m×1本	式	15,000	単価表 第25号 見積
真空掃除機賃料(基本料・整備費含む) 26L	台・月	75,000	単価表 第25号 見積
真空掃除機(集塵パック)	枚	600	単価表 第25号 見積
真空掃除機用HEPAフィルター	枚	45,000	単価表 第25号 見積
簡易型セキユリテールム	式	450,000	単価表 第25号 見積
エアシャワー賃料(基本料・整備費含む) 5m3/min程度	台・月	290,000	単価表 第25号 見積
エアシャワー用1次フィルター	枚	2,000	単価表 第25号 見積
エアシャワー用HEPAフィルター	枚	50,000	単価表 第25号 見積
電動ファン付呼吸用保護具 全面形面体, 国家検定合格品, Sy185同等品	個	99,300	単価表 第27号 見積

# 公 表 単 価 一 覧 表

名称・規格1・規格2	単 位	単 価	摘 要
呼吸用保護具用フィルター 国家検定合格品, V3/0V同等品	個	2,350	単価表 第27号 見積
化学防護服(シューズカバー付) JIS T 8115同等品	個	2,000	単価表 第27号 見積
化学防護手袋 JIS T 8115同等品(12組入り/袋)	袋	15,800	単価表 第27号 見積
ドラム缶 特別管理産業廃棄物運搬用, 200ℓ/缶, UN規格またはJIS規格	缶	26,600	明細表 第1号 見積
損料係数(吊足場(タイプ A3))	m <sup>2</sup> ・月		単価表 第18号 橋梁架設工事の積算P4-12
損料係数(床面シート張防護)	m <sup>2</sup> ・月		単価表 第19号 橋梁架設工事の積算P4-12
損料係数(朝顔)	m <sup>2</sup> ・月		単価表 第20号 橋梁架設工事の積算P4-12
損料係数(板張防護工)	m <sup>2</sup> ・月		単価表 第21号 橋梁架設工事の積算P4-12
損料係数(シート張防護工)	m <sup>2</sup> ・月		単価表 第22号 橋梁架設工事の積算P4-12
損料係数(剥離剤工用養生シート工) 中段足場養生無し	m <sup>2</sup> ・回		単価表 第23号 橋梁架設工事の積算P4-160

# 公 表 単 価 一 覧 表

名称・規格1・規格2	単 位	単 価	摘 要
損料係数(ﾌﾟﾗｽﾄ用養生ｼｰﾄ工) 中段足場養生無し	m <sup>2</sup> ・回		単価表 第24号 橋梁架設工事の積算P4-154
天板ﾌﾟﾚｰﾄ一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L φ158(SUS304 t=1.2mm), L=840, 長孔あり 外周曲加工含む, 内側EPDM貼付(t=3.0), コンクリートアンカー含む	本	64,730	明細表 第6号 見積
排水管取付金具 溶融亜鉛メッキ, 現場孔明含む	組	17,710	明細表 第6号 見積
ｼｮｰﾎﾞﾝﾄﾞ#303C同等品	kg	4,400	単価表 第15号 見積
ｶｰﾎﾞﾝｶﾞﾗｽﾛｰﾋﾞﾝｸﾞｸﾛｽ TERC-140同等品	m	1,750	単価表 第15号 見積
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙｺﾞﾑ A1同等品	m	7,700	単価表 第15号 見積
ｼｮｰﾎﾞﾝﾄﾞSR同等品	kg	5,900	単価表 第15号 見積
接着用硅砂 4号・7号	kg	180	単価表 第15号 見積
ｺｰﾅｰ金具 S型	m	4,750	単価表 第15号 見積
ｼｰﾙ材 ｼﾘｺﾝ系,ﾌﾞﾗｲﾏｰ含む	ﾘｯﾄﾙ		単価表 第15号 建設物価P346

# 公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
非破壊試験費 コンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定費 電磁波レーダ法 基本料	回		明細表 第11号 WEB建設物価
非破壊試験費 コンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定費 電磁波レーダ法 上向き	箇所		明細表 第11号 WEB建設物価
処分費 汚泥(無機性汚泥(建設汚泥を除く))	t		明細表 第2号 処分費 積算資料P964
負圧集塵装置用チャコフィルタ	枚	15,000	単価表 第25号 見積
真空掃除機用チャコフィルタ	枚	3,000	単価表 第25号 見積
エアシャワー用チャコフィルタ	枚	20,000	単価表 第25号 見積
一般性状試験 含水率	検体		明細表 第11号 建設物価P859
含有量試験 総水銀	検体		明細表 第11号 建設物価P859
溶出試験 総水銀	検体		明細表 第11号 建設物価P859
溶出試験 カドミウム	検体		明細表 第11号 建設物価P859



令和7年度 道路メンテナンス事業  
町道長坂線（長坂1号橋）橋梁補修工事

数量計算書

実施設計

仁淀川町 建設課

# 設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
橋梁塗装工							
	塗膜除去工						
		塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		m2	69.6	70	34.82m2 × 2回=69.64m2
		塗膜剥離剤	STRIPPER同等品	kg	52.2	52	0.75kg/m2 × 69.64m2=52.23kg
		剥離剤及び塗膜かす回収・積込		m2	69.6	70	
		ドラム缶	特別管理産業廃棄物運搬用, 200ℓ/缶	缶	1	1	想定数量
	塗膜塗替工						
		塗替塗装	素地調整, 1種ケレン	m2	34.8	35	
		運搬(片道)	小型車(2tクラス)	台	1	1	L=38.7km
		処分費	汚泥(無機性汚泥(建設汚泥を除く))	t	1.39	1.4	想定数量 34.8 × 40kg=1392kg
		塗替塗装	下塗り, 有機ジンクリッチペイント(1層)スプレー	m2	34.8	35	
		塗替塗装	下塗り, 弱溶剤形変性エポキシ樹脂(2層)スプレー	m2	34.8	35	
		塗替塗装	中塗り, 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用(スプレー)赤系	m2	34.8	35	
		塗替塗装	上塗り, 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(スプレー)赤系	m2	34.8	35	
		角部面取り	R=2mm以上	m	72.0	72	
	断面修復工						
	左官工法						
		断面修復工(左官工法)		構造物	1	1	V=0.004m3
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)						
		コンクリート殻積込・運搬(断面修復)		m3	0.004	0.004	L=16.6km
		処分料	無筋コンクリート	m3	0.004	0.004	

# 設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
伸縮継手工							
	鋼・ゴム製伸縮装置補修						
		伸縮装置撤去		式	1	1	
		現場発生品および支給品積込・荷卸	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	0.3	0.3	想定数量
		現場発生品及び支給品運搬	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	0.3	0.3	L=43.0km
		スクラップ	ヘビ- H1	t	0.3	0.3	
		伸縮装置設置工	シール工含む	m	6.0	6	
排水施設工							
	排水管取替工						
		排水管撤去工	鋼管	m	3.2	3	
		現場発生品および支給品積込・荷卸	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	0.02	0.02	想定数量
		現場発生品及び支給品運搬	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	0.02	0.02	L=43.0km
		スクラップ	ヘビ- H2	t	0.02	0.02	
		排水管設置	TS-PL_PIPE-L, L=840, 取付金具含む	本	4	4	
		天板プレート一体型排水装置	TS-PL_PIPE-L φ158(SUS304 t=1.2mm), L=840, 長孔あり, 外周曲加工含む, 内側EPDM貼付(t=3.0), コンクリートアンカー含む	本	4	4	
		排水管取付金具	溶融亜鉛メッキ, 現場孔明含む	組	4	4	
足場工							
	補修用足場						
		吊足場	タイプA3, 供用月数=0.8月	m2	34.0	30	
		床面シート張防護	供用月数=0.8月	m2	34.0	30	
		朝顔	供用月数=0.8月	m2	34.0	30	

# 設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	設計数量	摘 要
		板張防護工	供用月数=0.8月	m2	34.0	30	
		シート張防護工	供用月数=0.8月	m2	34.0	30	
		湿式塗膜剥離剤工用養生シート工	中段足場養生無し	m2	68.0	70	33.98m2×2回
		ガラス用養生シート工	中段足場養生無し	m2	34.0	30	
環境対策工							
	環境対策資機材						
		環境対策資機材費	供用日数:14日(作業日数:8日)	式	1	1	
交通管理工							
	交通誘導警備員						
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	12	12	6日×2人/日
安全費							
	鉛等呼吸用保護具等費用						
		鉛等呼吸用保護具等	日当り編成人数=4人程度, 予定作業日数:8日	式	1	1	
技術管理費							
	土質試験費						
		一般性状試験	含水率	検体	1	1	
		含水量試験	総水銀	検体	1	1	
		溶出試験	溶出液作成料	検体	2	2	
		溶出試験	総水銀	検体	1	1	
		溶出試験	カドミウム	検体	1	1	
		溶出試験	鉛	検体	1	1	

# 設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		溶出試験	六価クロム	検体	1	1	
		溶出試験	ひ素	検体	1	1	
		溶出試験	PCB	検体	1	1	
		溶出試験	ベンゼン	検体	1	1	
		溶出試験	セレン又はその他化合物	検体	1	1	
		非破壊試験費	電磁波レーダ法 基本料	回	1	1	
		非破壊試験費	電磁波レーダ法 上向き	箇所	4	4	

§ 2. 補修工  
(1)塗替え塗装工

1. 数量集計表

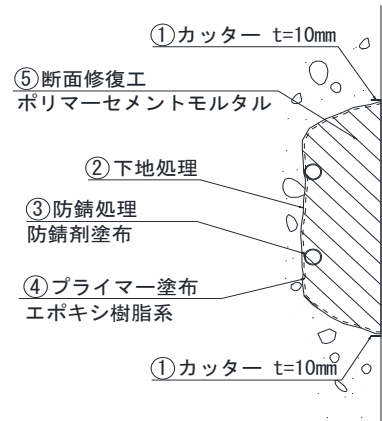
工種	名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
塗替え塗装工	塗替え塗装工	Rc-I 塗装系	m2	34.82	
	素地調整	1種ケレン	m2	34.82	
	塗膜剥離剤		m2	34.82	
	角部面取り		m	72.00	

2. 数量算出

種別	部材寸法  (m)			個数  (個)	塗装面積		素地調整面積 1種		塗膜剥離剤		備考	ネット率  (%)
					面数	(m2)	面数	(m2)	面数	(m2)		
主桁												
H形鋼	0.102	x	9.400	2	2	3.84	2	3.84	2	3.84	主桁 U.FLG 下	100%
H形鋼	0.442	x	9.400	2	2	16.62	2	16.62	2	16.62	主桁 WEB	100%
H形鋼	0.102	x	9.400	2	2	3.84	2	3.84	2	3.84	主桁 L.FLG 上	100%
H形鋼	0.016	x	9.400	2	2	0.60	2	0.60	2	0.60	主桁 L.FLGコバ	100%
H形鋼	0.200	x	9.400	2	1	3.76	1	3.76	1	3.76	主桁 L.FLG 下	100%
主桁 計					28.66	m2	28.66	m2	28.66	m2		
端部横桁												
溝形鋼	0.813	x	1.960	2	1	3.12	1	3.12	1	3.12	横桁 端部	98%
PL	0.468	x	0.090	4	2	0.34	2	0.34	2	0.34	V.STIF	100%
PL	0.468	x	0.090	4	2	0.22	2	0.22	2	0.22	V.STIF	65%
PL	0.075	+	0.175	4	2	0.10	2	0.10	2	0.10	Guss.PL	70%
x	0.140	/	2									
HTB	M20	※1		20	1	0.11	1	0.11	1	0.11		100%
端部横桁 計					3.89	m2	3.89	m2	3.89	m2		
中間横桁												
溝形鋼	0.813	x	1.960	1	1	1.56	1	1.56	1	1.56	横桁 中間部	98%
PL	0.468	x	0.090	2	2	0.13	2	0.13	2	0.13	V.STIF	78%
HTB	M20	※1		6	1	0.03	1	0.03	1	0.03		100%
中間横桁 計					1.72	m2	1.72	m2	1.72	m2		
支承												
A1側	可動	0.037	2	2	0.15	2	0.15	2	0.15			100%
		0.016	2	2	0.06	2	0.06	2	0.06			100%
		0.031	2	1	0.06	1	0.06	1	0.06			100%
A2側	固定	0.037	2	2	0.15	2	0.15	2	0.15			100%
		0.016	2	2	0.06	2	0.06	2	0.06			100%
		0.033	2	1	0.07	1	0.07	1	0.07			100%
支承 計					0.55	m2	0.55	m2	0.55	m2		
合計												
					34.82	m2	34.82	m2	34.82	m2		

(3)断面修復工 ( ポリマーセメントモルタル )

断面修復工詳細図



1. 数量集計表

1) 上部工

工種	名称	規格	単位	数量	備考
断面修復工	左官工法	防錆処理有り	m2	0.060	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.004	
	産廃処理	無筋コンクリート殻	m3	0.004	

## 2. 数量内訳

- 上部工

桁下面

損傷の種類	番号	縦(m)	×	横(m)	箇所	面積(m2)	備 考
鉄筋露出	1	0.050	×	0.050	1	0.003	
	2	0.050	×	0.050	1	0.003	
	3	0.050	×	0.050	1	0.003	
	4	0.050	×	0.050	1	0.003	
	5	0.050	×	0.050	1	0.003	
	6	0.050	×	0.050	1	0.003	
	7	0.050	×	0.050	1	0.003	
	8	0.050	×	0.050	1	0.003	
	9	0.050	×	0.050	1	0.003	
	10	0.050	×	0.050	1	0.003	
鉄筋露出 面積小計						0.030	
剥離	1	0.600	×	0.050	1	0.030	
剥離 面積小計						0.030	
断面修復面積(m2)							
鉄筋露出		-				0.030	
剥離		-				0.030	
面積合計						0.060	
断面修復材(m3)							
鉄筋露出		補修厚		50mm		0.002	
剥離						0.002	
断面修復材合計						0.004	

(1) 修復面積

$$A = 0.060 = 0.060 \text{ m}^2$$

(2) 断面修復材（ポリマーセメントモルタル）

$$V = 0.004 = 0.004 \text{ m}^3$$

(3) 産廃処理（無筋コンクリート）

$$V = 0.004 = 0.004 \text{ m}^3$$

仮定値 t=50mm はつり厚t=50mmとして算出する。

※1 M20 塗装面積 (合計)A=5.29m2/1000本('21 デザインデータブックP100より)

2. 角部面取り (主桁下フランジ角部 : R=2mm程度)

主桁 L= 9.400 × 4 × 2 = 75.20 m

控除 (端部)  
▲L= 0.200 × 4 × 4 = -3.20 m

合計 72.00 m

### (3) 伸縮装置取替工

#### 1. 数量集計表

工種	名称	規格	単位	数量	備考
伸縮装置 取替工	伸縮装置本体	カットオフジョイント(A-1)	m	6.000	
	SBモルタルC	ショーボンド#303C (1:5配合)	m3	0.081	
			kg	28.35	
		ショーボンド#303C (1:4配合)	m3	0.009	
			kg	3.69	
		接着剤用珪砂	kg	156.49	
	プライマー	ショーボンド#303C	m2	3.000	
			kg	3.00	
	CFRP	ショーボンド#303C	kg	6.00	
		カーボンガラスロービングクロス	m	24.000	
	シール材	ジョイントシールゴム A-1	m	6.000	
コーナー金具		m	12.000		
ショーボンドSR		kg	0.9		
シール工	シリコン充填剤		ℓ	0.12	
	プライマー		kg	0.002	

#### 2. 数量内訳

##### 1. 伸縮装置取替工

##### (1) 伸縮装置本体

・カットオフジョイント(A-1) (伸縮量20mm, 最大適用床版遊間30mm)

$$L = 3.000 \times 2 = 6.000 \text{ m}$$

##### (2) SBモルタルC

・ショーボンド#303C (1:5配合)

$$V = 0.150 \times 0.045 \times 2 \times 6.000 = 0.081 \text{ m3}$$

$$W = 0.081 \times \frac{2.00}{\text{比重}} \times 1000 \times \frac{1}{6} \times \frac{1.05}{\text{ロス率}} = 28.35 \text{ kg}$$

・ショーボンド#303C (1:4配合)

$$V = 0.150 \times 0.005 \times 2 \times 6.000 = 0.009 \text{ m3}$$

$$W = 0.009 \times \frac{1.95}{\text{比重}} \times 1000 \times \frac{1}{5} \times \frac{1.05}{\text{ロス率}} = 3.69 \text{ kg}$$

##### ・接着剤用珪砂

$$W = ((0.081 \times \frac{5}{6} \times 2.00) + (0.009 \times \frac{4}{5} \times 1.95)) \times 1000 \times \frac{1.05}{\text{ロス率}} = 156.49 \text{ kg}$$

(3) プライマー ( ショーボンド#303C )

$$A = \left( \frac{0.150}{\text{幅}} + \frac{0.050}{\text{厚}} + \frac{0.050}{\text{コーナー金具高}} \right) \times 2 \times 6.000 = 3.0 \text{ m}^2$$

$$W = 3.0 \times 1.00 \text{ (kg/m}^2\text{)} = 3.00 \text{ kg}$$

(4) CFRP

・含浸材 (ショーボンド#303C)

$$W = 6.000 \times 1.00 \text{ (kg/m)} = 6.00 \text{ kg}$$

・カーボンガラスロービングクロス

$$L = 6.000 \times 4.00 \text{ (m/m)} = 24.000 \text{ m}$$

(5) シール材

・ジョイントシールゴム A-1

$$L = 3.000 \times 2 = 6.000 \text{ m}$$

・コーナー金具

$$L = 6.000 \times 2.00 \text{ (m/m)} = 12.000 \text{ m}$$

・ショーボンドSR

$$W = 6.000 \times 0.15 \text{ (kg/m)} = 0.9 \text{ kg}$$

2. シール工

(1) シリコン充填剤 ( A2橋台側 )

$$V = 0.300 \times 2 \times 0.020 \times 0.010 \times 1000 = 0.12 \text{ l}$$

(2) プライマー ( A2橋台側 )

$$W = 0.300 \times 0.010 \times 2 \times 2 \times 0.200 = 0.002 \text{ kg}$$

## (5)排水管取替工

### 1. 数量集計表

工種	名称	規格	単位	数量	備考
排水管 取替工	既設排水管撤去	φ 114.3	m	3.20	
	ガス切断	φ 114.3	m	1.44	
	排水管	TS-PL_PIPE-L, L=840	本	4	
	コンクリートアンカー	M10x80, 1-SW, 1-W, 2-N	本	16	
	鉄筋探査工	鉄筋探査範囲：0.5×0.5=0.25m <sup>2</sup> /箇所	m <sup>2</sup>	1.00	非破壊探査：4箇所
排水管 取付金具工	取付金具製作	平鋼 100×6.0×385	kg	14.51	
		平鋼 100×6.0×304	kg	5.73	
		平鋼 100×6.0×200	kg	3.77	
		BN M12×45(2W付)	kg	1.31	
		BN M12×50(2W付)	kg	0.69	
		合計		26.00	
	溶融亜鉛メッキ	JIS H8641 HDZT77	kg	24.00	
		JIS H8641 HDZT49	kg	2.00	
	現場孔明工		本	8	

### 2. 数量算出

(1) 既設排水管撤去 ( φ 114.3 )

$$L = 0.800 \times 4 = 3.200 \text{ m}$$

(2) ガス切断 ( φ 114.3 )

$$L = 114.3 \times \pi / 1000 \times 4 = 1.436 \text{ m}$$

(3) 排水管 ( TS-PL\_PIPE-L, L=840 )

$$n = 4 = 4 \text{ 本}$$

(4) アンカーボルト ( M10x80, 1-SW, 1-W, 2-N )

$$n = 4 \times 4 \text{ 箇所} = 16 \text{ 本}$$

(5) 鉄筋探査工 ( 鉄筋探査範囲：0.5×0.5=0.25m<sup>2</sup>/箇所 )

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 4 \text{ 箇所} = 1.000 \text{ m}^2$$

(6)排水管取付金具工

取付金具製作

平鋼 100×6.0(SS400) L=385 単位重量= 7850 kg/m3

$$n = 2 \times 4 \text{ 箇所} = 8 \text{ 個}$$

$$W = 0.385 \times 0.100 \times 0.006 \times 7850 \times 8 = 14.507 \text{ kg}$$

平鋼 100×6.0(SS400) L=304 単位重量= 7850 kg/m3

$$n = 1 \times 4 \text{ 箇所} = 4 \text{ 個}$$

$$W = 0.304 \times 0.100 \times 0.006 \times 7850 \times 4 = 5.727 \text{ kg}$$

平鋼 100×6.0(SS400) L=200 単位重量= 7850 kg/m3

$$n = 1 \times 4 \text{ 箇所} = 4 \text{ 個}$$

$$W = 0.200 \times 0.100 \times 0.006 \times 7850 \times 4 = 3.768 \text{ kg}$$

$$\text{鋼材重量(平鋼)} \Sigma W = 24.00 \text{ kg}$$

BN M12×45(2W付) 質量(1本)= 0.082 kg

$$n = 4 \times 4 \text{ 箇所} = 16 \text{ 本}$$

$$W = 16 \times 0.082 = 1.31 \text{ kg}$$

BN M12×50(2W付) 質量(1本)= 0.086 kg

$$n = 2 \times 4 \text{ 箇所} = 8 \text{ 本}$$

$$W = 8 \times 0.086 = 0.69 \text{ kg}$$

$$\text{鋼材重量(ボルト)} \Sigma W = 2.00 \text{ kg}$$

溶融亜鉛メッキ

JIS H8641 HDZT77

$$W = 24.00 \text{ 鋼材重量より} = 24.00 \text{ kg}$$

JIS H8641 HDZT49

$$W = 2.00 \text{ 鋼材重量より} = 2.00 \text{ kg}$$

現場孔明工

$$n = 2 \times 4 \text{ 箇所} = 8 \text{ 本}$$

(6)足場工

1. 数量集計表

工種	名称	規格	単位	数量	備考
足場工	吊り足場	TYPE-A3	m2	33.98	

2. 数量内訳

1) 吊り足場 (TYPE-A3)

・ 設置幅 B=3.60m

設置長 L=9.44m

A

=

3.60

x

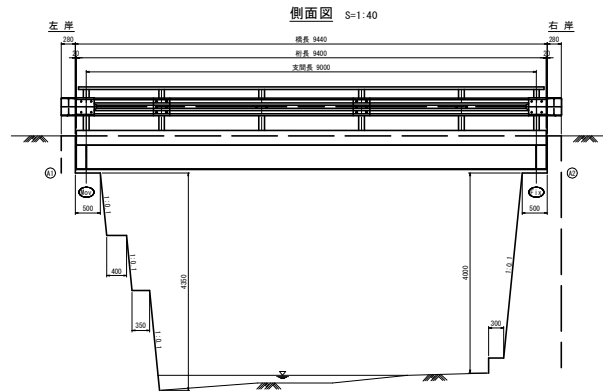
9.44

=

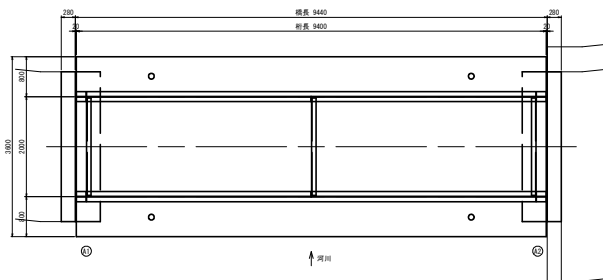
33.98

m2

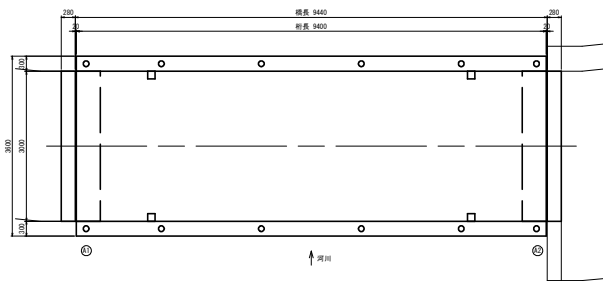
### 現況橋梁一般図



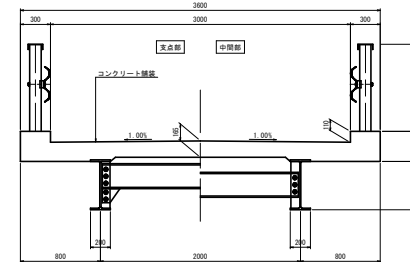
平面图(桁下面) S=1:40



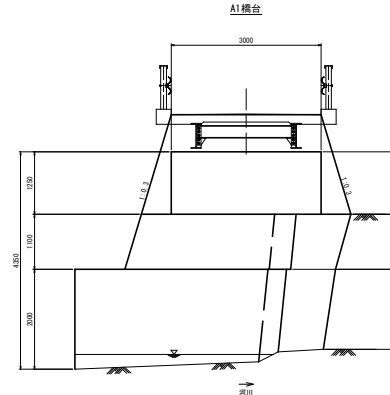
平面図(橋面) S=1:40



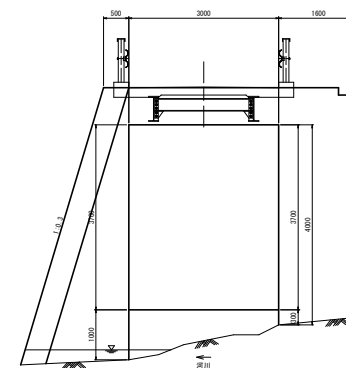
断面图 S=1:20



下部工正面图 S=1:40



### A2橋台

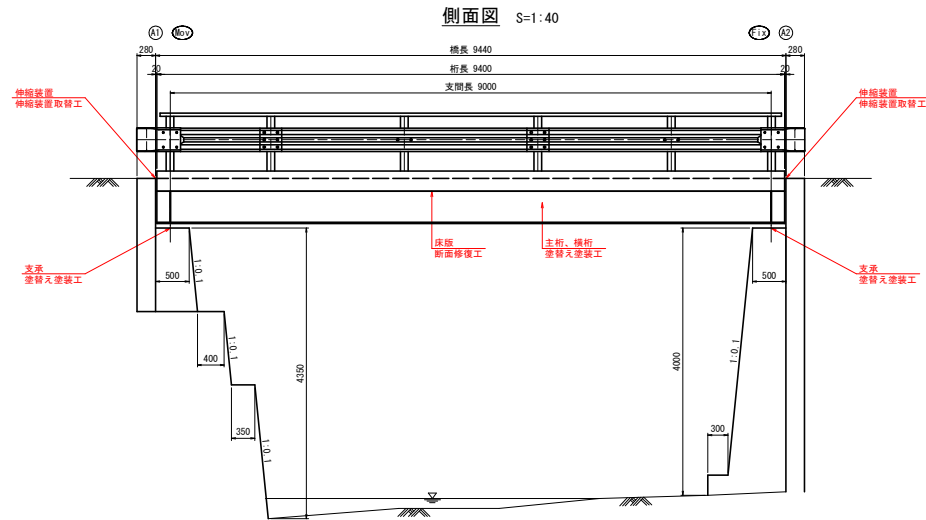


橋梁諸元

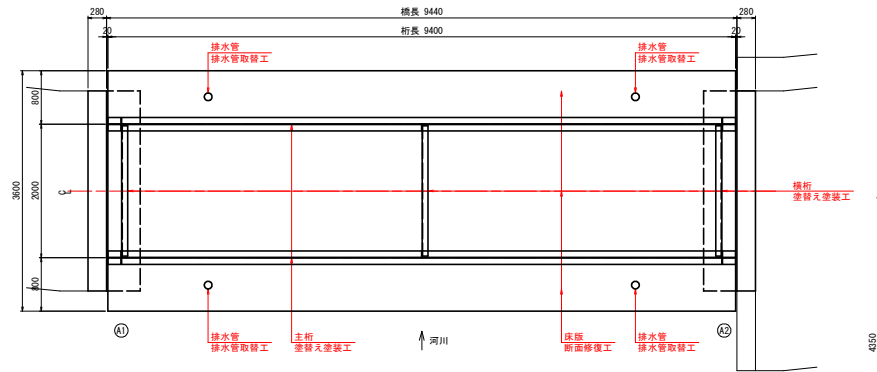
機 名	長堤1号機
機 種	鋼道路機
型 式	單軌鋼桁橋
橋 長	9.44m
全 幅 員	地盤0.302m・車道3.002m・地盤0.300m・3.602m
角 度	90° 00' 00"
基 礎	直隸基礎
架設年度	不明

仁 淀 川 町			
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線（長坂1号橋）橋梁補修工事		
国庫名称	現況橋梁一般固	橋 尺	固
路線河川名	町道長坂線		
工事箇所	高知県 香川県 仁淀川町 長坂		
設計種別	実施設計	国 庫 番 号	1 7
事務所名	仁淀川町役場		
図 表 名			

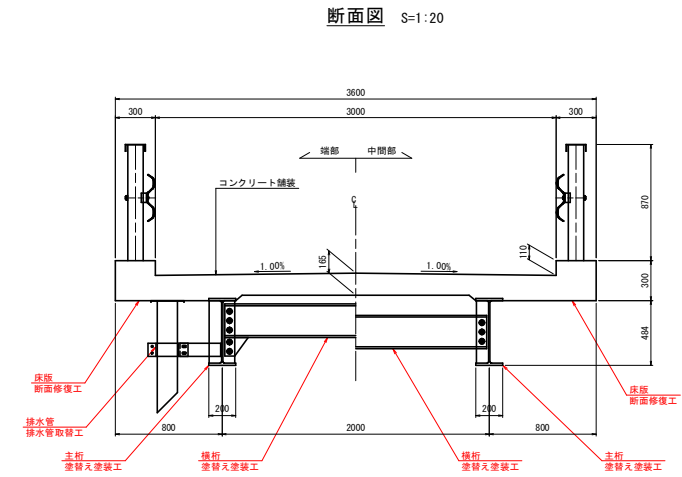
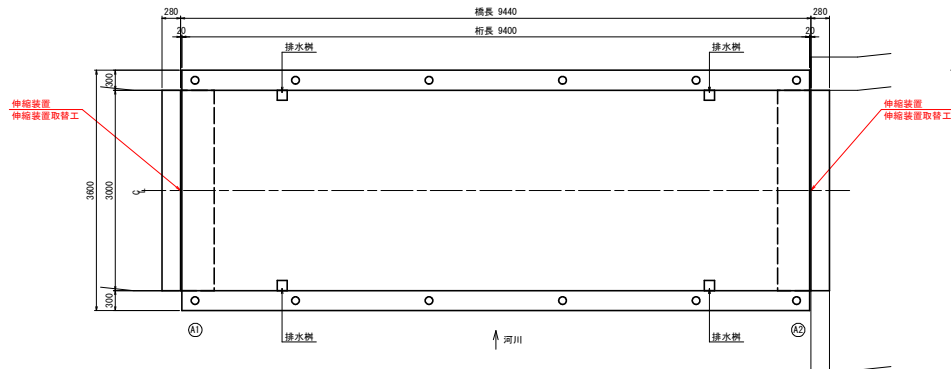
補修一般図



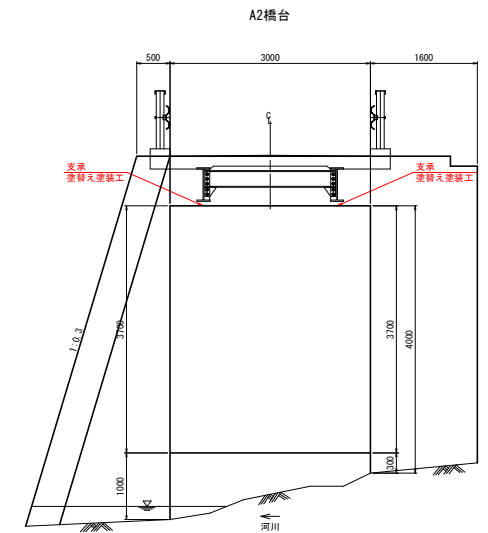
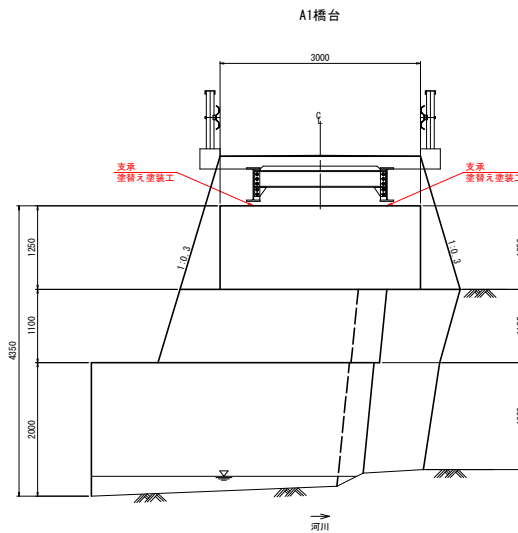
平面图(桁下面) S=1:40



平面圖(橋面) S=1:40



下部工正面图 S=1:40



橋梁諸元	
橋 種	單純鋼桁鋼 (不明)
適用示方書	不明
規格・設計荷重	不明
橋 長	9.440m
全幅員	3.600m
有効幅員	3.000m
下部工及び基礎形式	橋台：重力式橋台 基礎形式：直接基礎
竣工年月	不明

補修箇所一覧表

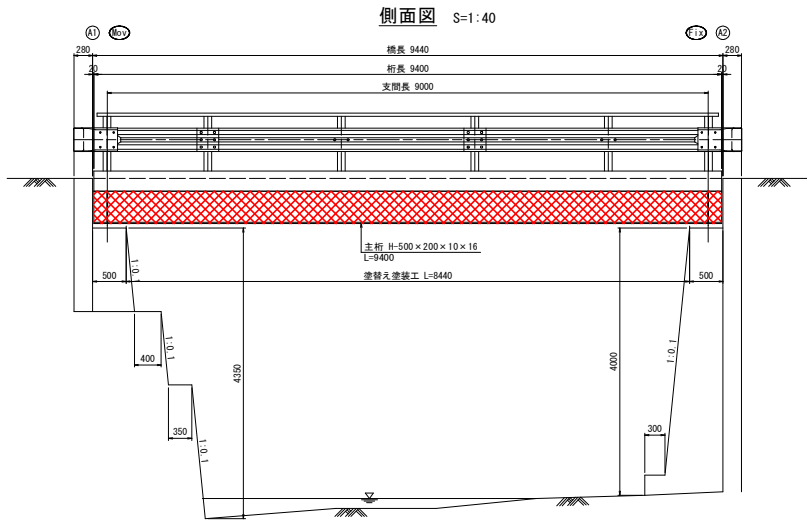
対象部位	損傷内容	補修項目
主桁	腐食・防食機能の劣化	塗替え塗装工
横桁	腐食・防食機能の劣化	塗替え塗装工
床版	剥離・鉄筋露出、うき	断面修理工
支承	腐食・防食機能の劣化	塗替え塗装工
伸縮装置	漏水・滞水	伸縮装置取替工
排水管	腐食・防食機能の劣化	排水管取替工

(注意事項)

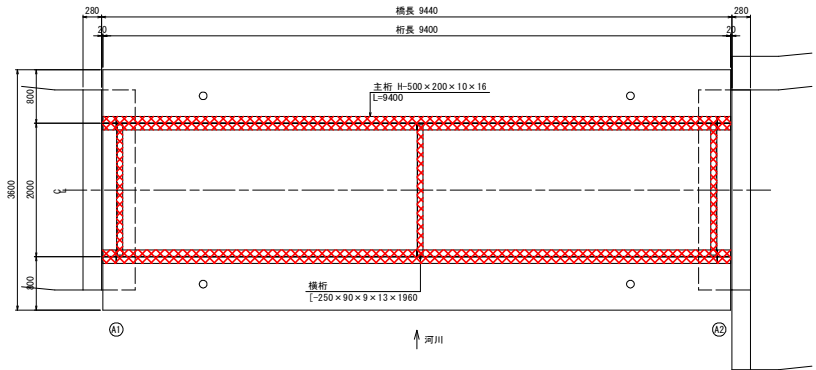
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

仁 淀 川 町				
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線（仮称1号橋）橋架補修工事			
図面名称	補修一般図	縮 尺	図示	
路線/河川名	町道長坂線			
工事箇所	高知県 吾川町 仁淀川町 長坂			
設計種別	実施設計	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">図 番</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2  7</div> </div>		
事務所名	仁淀川町役場			
会 社 名				

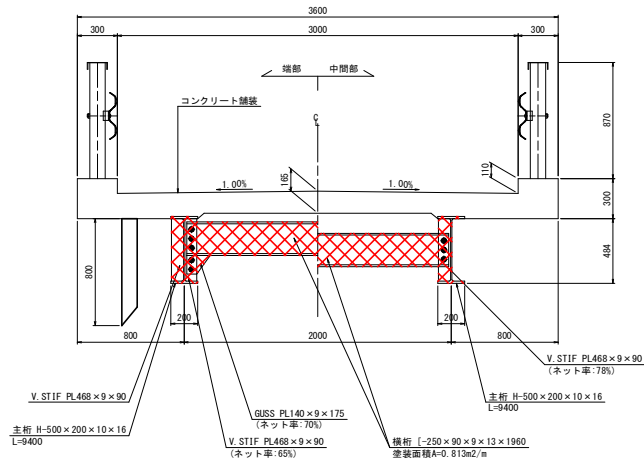
塗替塗装工詳細図



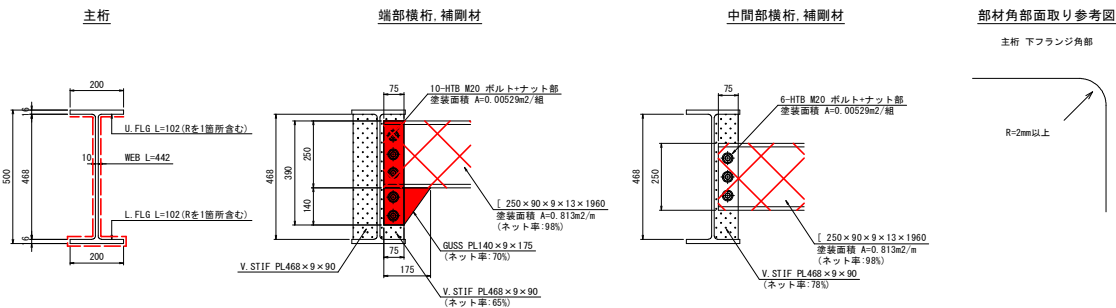
平面図(桁下面) S=1:40



断面図 S=1:20



部材詳細図 S=1:10



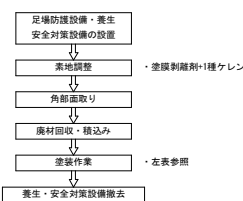
塗替え塗装工

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
塗膜剥離剤		m <sup>2</sup>	34.82	
素地調整	1種ケレン	m <sup>2</sup>	34.82	
塗替え塗装工	Rc-I 塗装系	m <sup>2</sup>	34.82	
角部面取り		m	72.00	

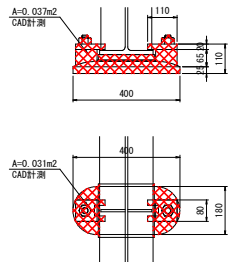
Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	塗膜剥離剤+1種ケレン プラスト (除せい度 ISO Sa 2 1/2)		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

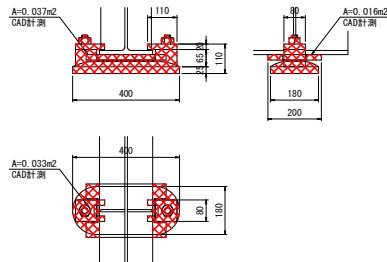
施工フロー



可動支承



固定支承

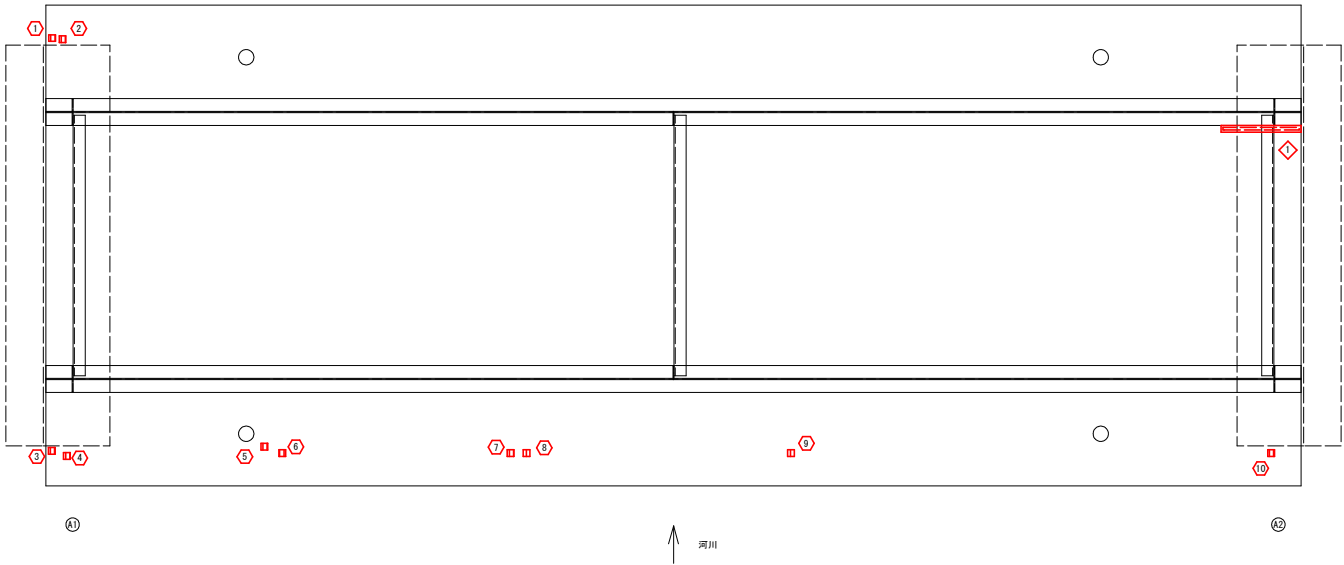


注) 1. 施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線 (長坂1号橋) 橋梁補修工事		
図面名称	塗替塗装工詳細図	縮 尺	図示
路線河川名	町道長坂線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 長坂		
設計種別	実施設計	図 面 号	3 7
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

コンクリート補修工詳細図

桁下面図 S=1:20



断面修復工(桁下面)

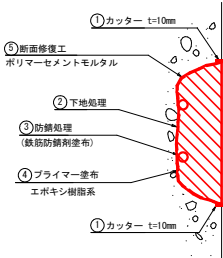
番号	W (m)	L (m)	箇所	面積 (m2)
鉄筋露出				
1	0.050	0.050	1	0.003
2	0.050	0.050	1	0.003
3	0.050	0.050	1	0.003
4	0.050	0.050	1	0.003
5	0.050	0.050	1	0.003
6	0.050	0.050	1	0.003
7	0.050	0.050	1	0.003
8	0.050	0.050	1	0.003
9	0.050	0.050	1	0.003
10	0.050	0.050	1	0.003
鉄筋露出 面積小計				0.030
剥離				
1	0.600	0.050	1	0.030
剥離 面積小計				0.030
断面修復面積 (m2)				
鉄筋露出	-	-	-	0.030
剥離	-	-	-	0.030
面積合計				0.060
断面修復材 (m3)				
鉄筋露出	修復厚	50mm	0.002	
剥離	修復厚	50mm	0.002	
断面修復材合計				0.004

※ 断面修復工法: ポリマーセメントモルタル

凡例

損傷の種類	記号	表示
剥離	◇	
鉄筋露出	○	

断面修復工詳細図



1. はつり

2. 下地処理

3. 鉄筋防錆処理

4. プライマー塗布

5. 断面修復 (左官工法)

6. 養生・仕上げ
- 橋体表面から50mm程度まではつる。

ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。

鉄筋の錆を落とし、防錆剤を塗布する。

はつり出したコンクリート面に剛毛を用いてプライマーを塗布する。

ポリマーセメントモルタルを左官工法により施工する。

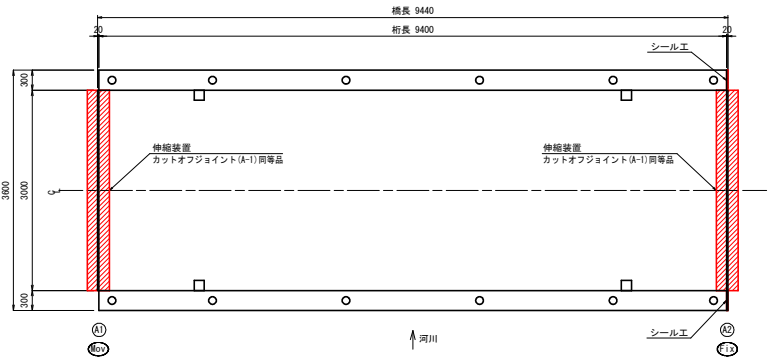
表面は後工程がないため、平坦に仕上げる。

※ 注意事項  
1) 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。  
2) 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。  
3) 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。  
4) 断面修復深さは、現地調査結果を参考に決定しているため、補修時には実際のかぶり厚を確認しながら鉄筋背面まではつり作業を行うこと。  
5) 断面修復材  
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案)」  
[工法別マニュアル編]平成17年土木学会]に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

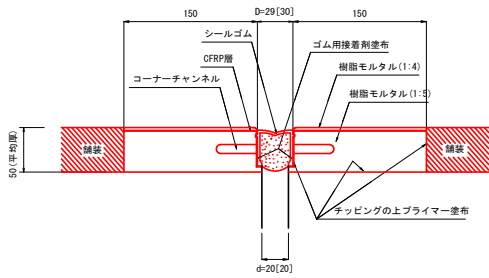
仁 淀 川 町			
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線(長坂1号橋)橋梁補修工事		
図面名称	コンクリート補修工詳細図	縮 尺	図示
路線河川名	町道長坂線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 長坂		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	4 7
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

伸縮装置取替工詳細図

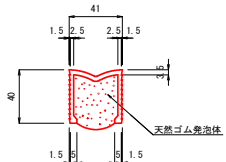
平面図 S=1:40



伸縮装置断面図 S=1:3  
(カットオフジョイント同等品)

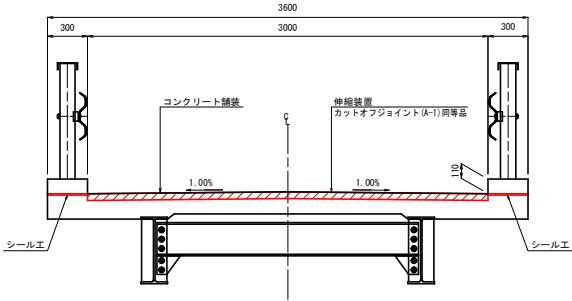


ジョイントシールゴム断面図  
(A-1)



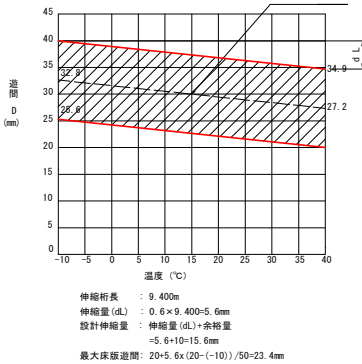
型式	ジョイント間隔 D (mm)		適用最大床版間隔 d (mm)	許容伸縮量 (mm)
	最大	最小		
A-1	40	20	30	20

断面図 S=1:20

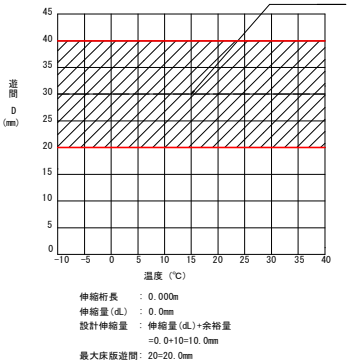


設計条件		
温度範囲	-10℃ ~ +40℃	
施工位置	A1	A2
支承条件	Mov	Fix
設計伸縮量	15.6mm	10.0mm
最大床版間隔	23.4mm	20.0mm

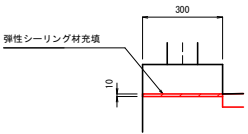
設置間隔 (A1)



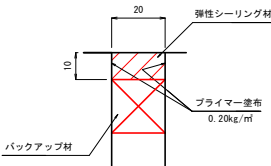
設置間隔 (A2)



シール工詳細図 S=1:10



シール材充填図 S=1:10



カットオフジョイント同等品数量表 シール工含む (全長当たり)

名称	単位	数量	内訳
SBモルタルC	m <sup>3</sup>	0.081	0.150 (幅) x 0.045 (厚) x 2 (箇所) x 6.000 (延長)
	kg	28.35	0.081 x 2.00 (比重) x 1000 x 1/6 x 1.05 (ロス率)
	m <sup>3</sup>	0.009	0.150 (幅) x 0.005 (厚) x 2 (箇所) x 6.000 (延長)
	kg	3.69	0.009 x 1.95 (比重) x 1000 x 1/5 x 1.05 (ロス率)
プライマー	kg	156.49	[0.081 x 5/6 x 2.00] + [0.009 x 4/5 x 1.95] x 1000 x 1.05 (ロス率)
	m <sup>2</sup>	3.000	[0.150 (幅) + 0.050 (厚) + 0.050 (コーナー金具高)] x 2 x 6.000 (延長)
CFRP	kg	6.00	6.000 (延長) x 1 (kg/m) x 1mあたり1kg使用
	m	24.000	6.000 (延長) x 4 (m/m) x 1mあたり4m使用
シール材	m	6.000	ジョイントシールゴム A-1
	m	12.000	コーナー金具
	kg	0.9	ジョイントシールSR
シリコン系	kg	0.12	0.3 x 2 x 0.02 x 0.01 x 1000
プライマー	kg	0.002	0.3 x 0.01 x 2 x 2 x 0.2

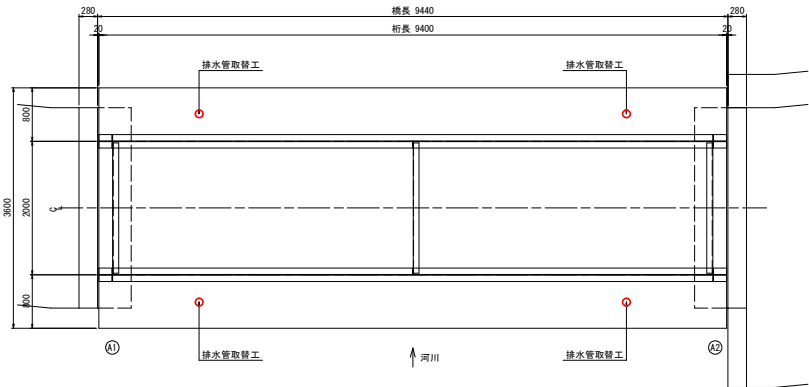
仁 淀 川 町			
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線（長坂1号橋）橋梁修繕工事		
図面名称	伸縮装置取替工詳細図	縮 尺	図示
路線河川名	町道長坂線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 長坂		
設計種別	実施設計	図 番 号	5
事務所名	仁淀川町役場		7
会 社 名			

注) 1. 施工時には、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

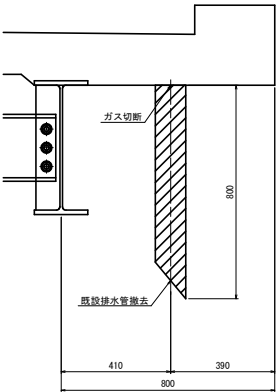
排水管取替工詳細図

断面図 S=1:10

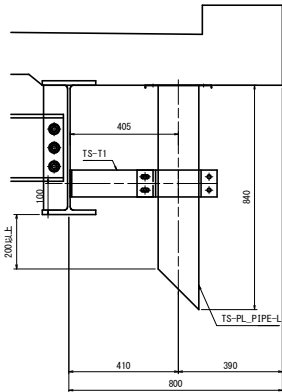
平面図(桁下面) S=1:40



既設排水管撤去

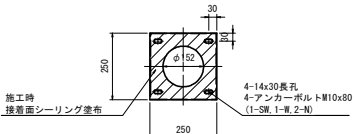


新設排水管設置



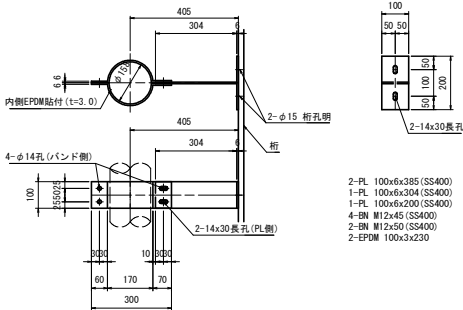
排水装置詳細図 S=1:10

天板プレート一体型排水装置 TS-PL\_PIPE-L  
製作数=4



取付金具詳細図 S=1:10

取付金具詳細図  
TS-T1  
製作数=4



2-PL 100x6x385 (SS400)  
1-PL 100x6x304 (SS400)  
1-PL 100x6x200 (SS400)  
4-BN M12x45 (SS400)  
2-BN M12x50 (SS400)  
2-EPDM 100x3x230

排水管取替工

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
既設排水管撤去	φ114.3	m	3.20	
ガス切断	φ114.3	m	1.44	
排水管	TS-PL_PIPE-L, L=840	本	4	
コンクリートアンカー	M10x80, 1-SW, 1-W, 2-N	本	16	
鉄筋探査工	0.5x0.5=0.25m <sup>2</sup> /箇所	m <sup>2</sup>	1.00	

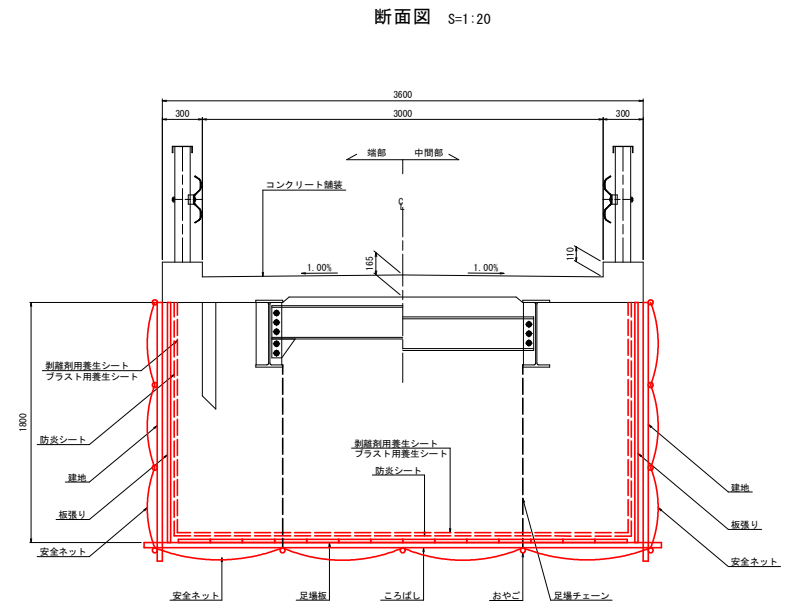
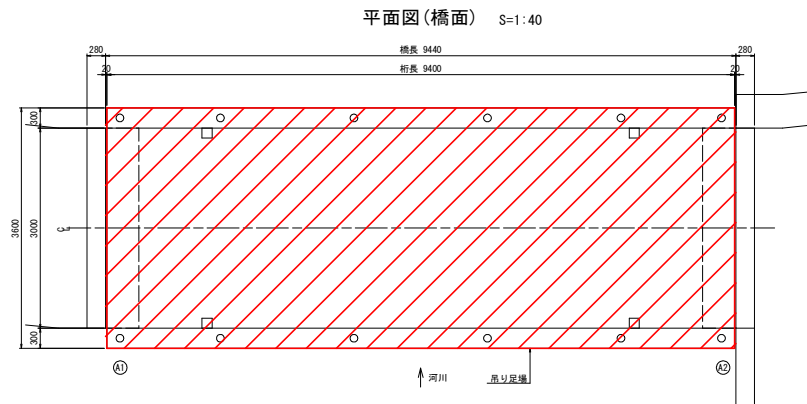
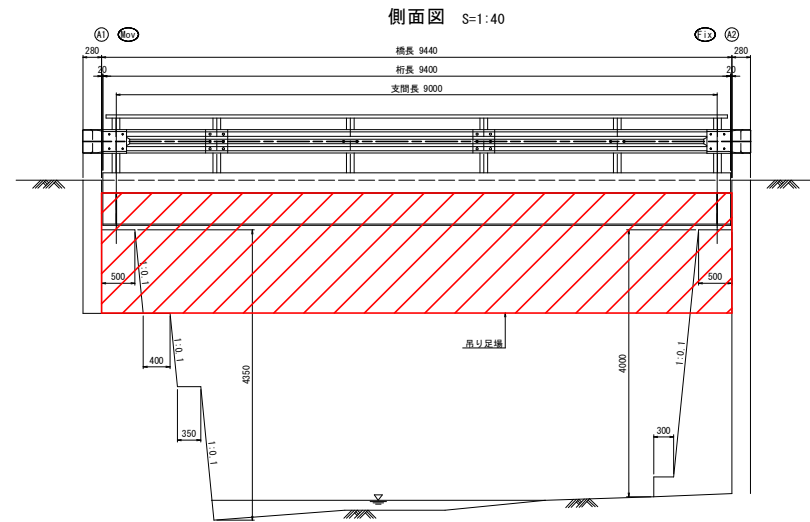
排水管取付金具(計4箇所)

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
鋼材重量	8-PL 100×6.0×385 (SS400)	kg	14.51	
	4-PL 100×6.0×304 (SS400)	kg	5.73	
	4-PL 100×6.0×200 (SS400)	kg	3.77	
	16-BN M12×45 2W付	kg	1.31	
	8-BN M12×50 2W付	kg	0.69	
鋼材重量合計			26.00	
溶融亜鉛めっき	JIS H8641 HDZT77	kg	24.00	
	JIS H8641 HDZT49	kg	2.00	
現場孔明工		本	8	

- (注意事項)
- 特記なき材質はすべてSUS304とする。
  - 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
  - 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
  - SS400は全て溶融亜鉛メッキ (特記なき場合は JIS H 8641 HDZT77) 仕上げる。但し、ボルト類はHDZT49とする。
  - t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し 断面性向上の措置を講じる。
  - 現地調査にて寸法確定後製作する。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線(長坂1号橋)橋梁補修工事		
図面名称	排水管取替工詳細図	縮 尺	図示
路線河川名	町道長坂線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 長坂		
設計種別	実施設計	図 面 号	6
事務所名	仁淀川町役場		7
会 社 名			

## 足場工参考図



足場工数量表

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
足場工	吊り足場	m2	33.98	TYPE-A3

仁 淀 川 町			
工事種別	令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長後線（長坂1号橋）橋梁補修工事		
図面名称	足場工参考図	縮 尺	図示
路線/河川名	町道長後線		
工事箇所	高知県 吾川町 仁淀川町 長坂		
設計種別	実施設計	図 番	7
事務所名	仁淀川町役場		7
会 社 名			

注) 1. 施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

令和7年度 道路メンテナンス事業 町道長坂線(長坂1号橋)橋梁補修工事  
位置図

